

関係各位

「脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業」研修会 (ご案内)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、兵庫県リハ3士会障害児者支援協議会は兵庫県より「脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業」の委託を受け、標記研修会を企画いたしました。在宅や訪問の分野における脳性まひ等肢体不自由児者の支援方法、支援技術のための研修会です。在宅や訪問で活動中、あるいは活動を検討しておられるリハ職及び看護職を対象としております。

ご受講のほど、よろしくお願い申し上げます。

なお兵庫県リハ3士会障害児者支援協議会は兵庫県理学療法士会、兵庫県作業療法士会、及び兵庫県言語聴覚士会にて構成されております。

記

「脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業」研修会

○第2回目(2日間コース)(12月に開催した1回目と同内容)

日時：令和2年3月7日(土)9:30~16:20・8日(日)9:00~15:40

会場：兵庫県福祉センター 1階 多目的ホール102・103号室

〒651-0062 兵庫県神戸市中央区坂口通2丁目1-1 TEL 078-242-4647

募集人員：40名 締切：3月2日(月)(定員になり次第、応募を終了します。また同一施設の応募が多い場合、調整させていただく場合があります)

応募方法 別紙FAX用紙(裏面)でお申し込みください。

(受講決まり次第ご連絡いたします。)

参加費：2000円(2日間)当日徴収

受講資格：理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・保健師



JR「灘」駅より徒歩10分
阪急「王子公園」駅より徒歩10分
阪神「岩屋」駅より徒歩15分
神戸市営バス90・92系統
「上筒井1丁目」停留所下車すぐ

問合せ先：兵庫県理学療法士会 事務局
TEL・FAX 078-367-7311
e-mail pt-hyogo@aurora.ocn.ne.jp

「脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業」講義内容

1 障害児・者の理解—疾患や障害の特性—

地域で障害児・者の看護、介護、リハビリテーションに関わるとき知っておくべき疾患や障害の特性、薬剤に関する基礎知識、てんかん等発作時の対応について学ぶ。

2 障害児・者に対する社会福祉制度と支援体制

地域で障害児・者の看護、介護、リハビリテーションに関わるとき知っておくべき福祉制度や支援体制について学ぶ。障害支援区分、障害者総合支援法（自立支援給付、地域生活支援事業）等の概略を理解する。

3 障害児・者に対する医療・看護ケア

地域で障害児・者の看護、介護、リハビリテーションに関わるとき知っておくべき基本的な医療・看護ケアについて、重症心身障害児者看護の事例をとおして、基本的な関わりやリスク管理等の基本事項を学ぶ。

4 理学療法士アプローチ（講義・実技）

小児期から成人期の脳性麻痺児（者）・重症心身障害児（者）の理学療法について、身体の成長に伴い生じる変化や成人期に起こる問題等も含め、概論的な内容を講義する。講義には呼吸理学療法に関する内容を含む。姿勢変換等の介助方法・ポジショニング、福祉器具を使用する際に注意する点等について、実際の事例を動画で紹介した後に実技を行う。

5 言語聴覚アプローチ（講義・デモ・体験）

重症心身障害児・者におけるコミュニケーションの困難さや要因を学び、現在のコミュニケーションの取り方を把握し尊重すること、年齢にふさわしいかわり方の大切さ、得意な能力（個性）を把握しコミュニケーションに繋げていくなど、コミュニケーションにおける支援の考え方について学ぶ。

重症心身障害児・者における食事の困難さを学び、重症心身障害児・者によくみられる食べ方や飲み方を体験する。誤嚥のリスクと対処方法など、食事の支援の考え方について学ぶ。

6 作業療法アプローチ（講義・デモ・体験）

脳性麻痺を主とした肢体不自由児者に対する作業療法について基本的な評価・アセスメントと介入・支援について講義する。評価としては上肢・手指機能、視知覚などの機能的評価、ADLや遊び・余暇活動など生活行為等の発達や意義について整理する。また支援としては対象者個別の特性を踏まえた上で、目標とする課題や環境設定等について事例を上げて考察する。ADLや余暇活動については、デモ機器等を用いて体験できるような機会も設ける。

脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業 研修次第

第1日目

	時間	項研修目	内容	講師
1	9:30～ 9:50	事業概要説明	「県東部障害児者リハビリテーション施設」・「脳性まひ等肢体不自由児者に係る療法士等研修事業」等概要説明	兵庫県障害福祉課
2	9:50～ 11:20	障害児者の概論 (講義)	疾患・障害特性(ライフステージ)、筋緊張の抑制、薬剤、発作時の対応等(リハ、看護での留意点)	兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター センター長 医学博士 柴田 徹
3	11:20～ 12:20	社会福祉制度 (講義)	障害区分、療育手帳、支援サービス等	兵庫県障害福祉課
4	13:20～ 16:20	理学療法アプローチ (講義・実技)	関節可動域、動作介助、ポジショニング、評価等	理学療法士会

第2日目

	時間	項研修目	内容	講師
1	9:00～ 10:30	看護ケア 重症心身障害児者看護から (講義)	重症心身障害児者看護の現場事例から関わりのポイントを学ぶ	西宮すなご医療福祉センター 研修室長 山下順子
2	10:40～ 12:40	重症心身障害児者の食事とコミュニケーションの困難さ ～援助の基本～ (講義・体験)	認知・コミュニケーションの困難さ、評価、方針決定、治療、支援について 重症心身障害児者の摂食嚥下障害の機序、摂食嚥下機能、食事の困難さ、評価、方針決定、治療、支援について	言語聴覚士会
3	13:40～ 15:40	作業療法アプローチ(講義・デモ・体験)	環境調整、日常生活動作、福祉用具の適応等	作業療法士会

(講義時間は変更あり)